

(添付資料)

成長型中小企業等研究開発支援事業（通称 Go-Tech 事業）の概要

【概要】中小企業等が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う事業化につながる可能性の高い研究開発の取組を国が支援する大型補助金です。

【事業期間】最大 3 年間 【補助金上限額】9,750 万円

【補助率】2/3（大学・公設試等 10/10 上限あり）

【URL】Go-Tech 事業の紹介(中小機構 J-Net21) ↑ QR コード

【当機構の役割】計画申請を支援し、採択後は事業管理機関として計画の円滑な推進を図ります。

【R7 年度実績】全国申請数 253 件、採択数 124 件(採択率 49%)うち、九州地域採択数 13 件



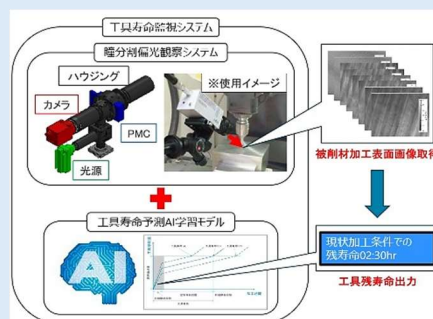
令和7年度 Go-Tech 事業の交付決定を受けた研究開発計画3件の概要

【計画名】 瞳分割偏光観察システムと工具寿命予測 AI を統合した機械加工の工具寿命監視システム

【研究等実施機関】・(株)デンケン(由布市)・高知工科大学(高知県高知市)

【アドバイザー】・タケダ機械(株)・(株)ノムラ・(株)坂本技研・菱高精機(株)・静岡大学

【概要】現在機械加工での工具寿命超過による不良品発生を防ぐため、寿命より大幅に早いタイミングで工具交換する方法か、熟練技術者の判断で寿命付近まで使用する方法が取られているが、いずれも生産性・効率化と低コスト化のトレードオフの関係に陥ってしまう。本事業では独自技術の瞳分割偏光イメージングとAIを活用した工具寿命監視システムを開発し、不可能であった工具寿命予測を実現することで、産業全体の競争力強化に寄与する。



【計画名】 温泉用給排水配管の管路閉塞問題を解決する自動洗浄機能付配管システムと環境対応型廃液処理技術の研究開発

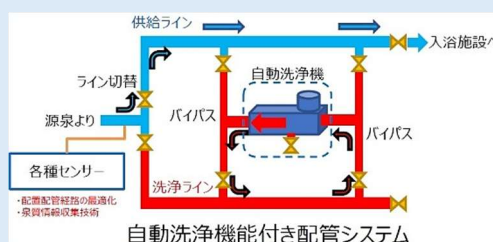
【研究等実施機関】・(株)ホーシン(大分開発部:大分市 本社:大阪府門真市)

・大分大学(大分市)・日本文理大学(大分市)

【アドバイザー】・東海大学・野口新生特許事務所・別府温泉地球博物館

・別府市旅館ホテル組合連合会

【概要】インバウンド需要増加により温泉宿泊施設等の稼働率が上がっているが、温泉特有のスケールによる突然の配管閉塞による緊急保全工事等の経済負担が発生している。これを未然に防ぐ為、専用薬剤等の複合的洗浄機能を用いた自動洗浄機能付き配管システムを開発すると共に、薬剤再生機構や廃液を有効利用可能な処理方法も併せて技術確立し、温泉施設事業者に対し経済的かつ環境的に優れた温泉配管維持管理を実現する。



【計画名】 AI搭載ASVとROVの統合制御とデータベースの活用による水域業務における革新的運用システムの開発

【研究等実施機関】・ゴードービジネスマシン(株)(大分市)・夢想科学(株)(大分市)

・長崎大学(長崎県長崎市)

【アドバイザー】・徳島大学・古河産業(株)・(国研)海洋研究開発機構

【概要】コストや人材不足、厳しい作業環境など水域内のインフラ設備の点検や環境保全における植生、水質調査などにおいて多大な課題が存在する。そこで、AI搭載のASV(自律型小型無人艇)やROV(小型無人潜水艇)、ASVとROVの統合制御アプリと、これらの水域ドローンから得られる膨大なデータを効率よく管理するデータベースを開発し、現状抱える課題に応えるハードとソフト一体となったシステムを開発することで、工数削減、コスト削減、リスク低減、品質向上を実現する。

